

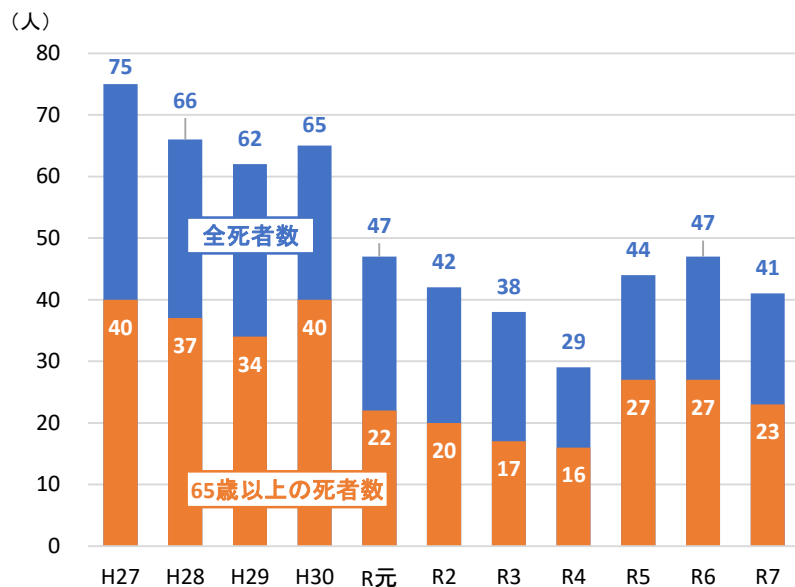
令和7年上半期における交通死亡事故の発生状況

令和7年7月31日
福岡県警察本部
交通部交通企画課

1 交通事故死者数の推移

- 死者数は41人で、前年同期比-6人、12.8%減
- 65歳以上の死者数は23人で、前年同期比-4人、14.8%減

交通事故死者数の推移【各年6月末】

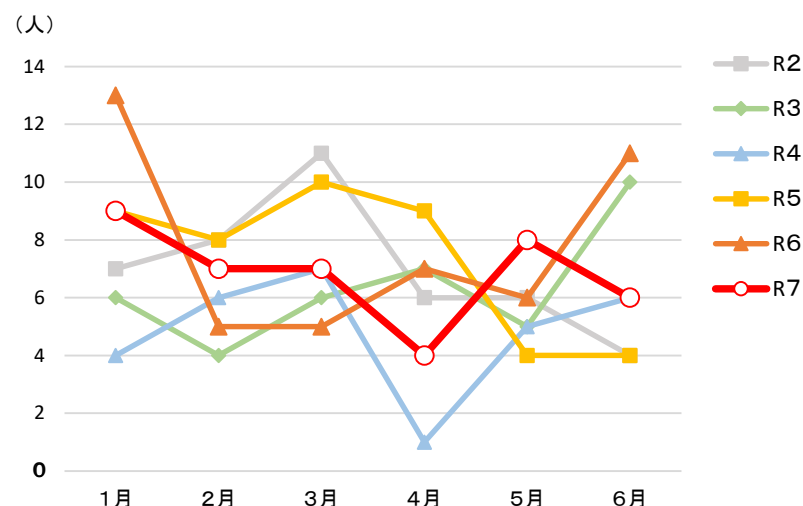


高齢者の割合	53.3%	56.1%	54.8%	61.5%	46.8%	47.6%	44.7%	55.2%	61.4%	57.4%	56.1%
--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

高齢者の人口(千人)	1,321	1,357	1,384	1,409	1,425	1,432	1,445	1,449	1,451	1,456	—
全人口に占める高齢者の割合	25.9%	26.6%	27.1%	27.6%	27.9%	27.9%	28.2%	28.3%	28.4%	28.6%	—

(注)・人口は、総務省統計資料「人口推計」(各年10月1日現在人口(補間補正を行っていないもの。ただし、国勢調査実施年は国勢調査人口(不詳補完値)による。))による。以下同じ。

月別交通事故死者数の推移



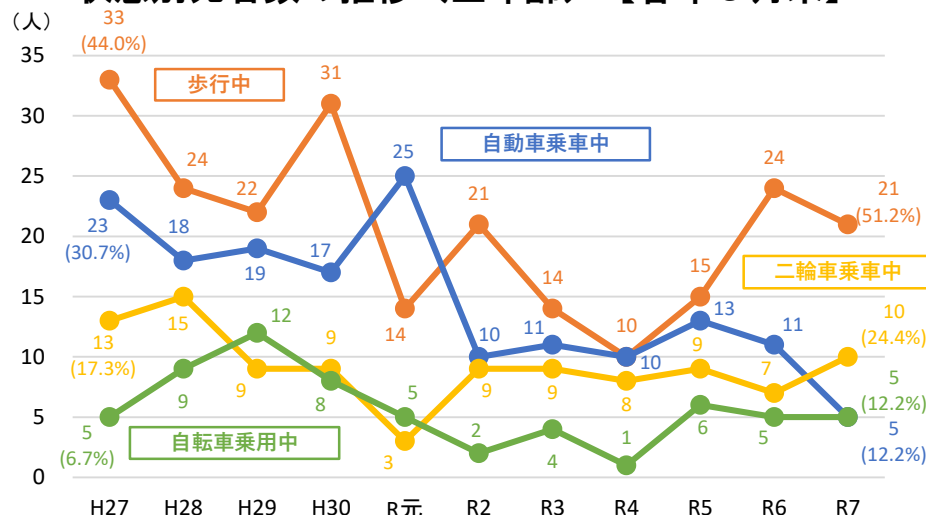
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
R 2	7	8	11	6	6	4	42
R 3	6	4	6	7	5	10	38
R 4	4	6	7	1	5	6	29
R 5	9	8	10	9	4	4	44
R 6	13	5	5	7	6	11	47
R 7	9	7	7	4	8	6	41
増減数	-4	2	2	-3	2	-5	-6
増減率	-30.8%	40.0%	40.0%	-42.9%	33.3%	-45.5%	-12.8%

(注)・増減数(率)は、前年と比較した値である。

2 状態別交通事故死者数の推移

- 状態別死者数は全年齢で、「歩行中」・「自動車乗車中」は減少、「二輪車乗車中」は増加
- 状態別死者数は、全年齢、65歳以上ともに「歩行中」が最多

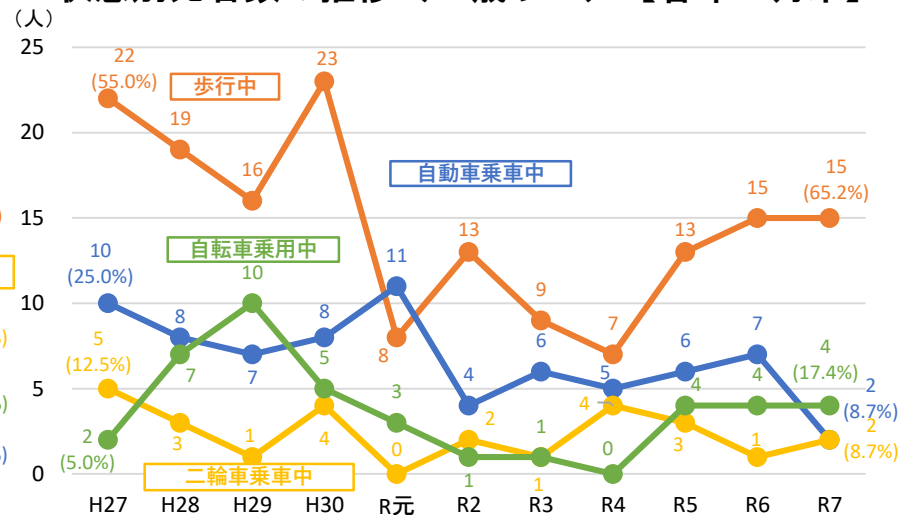
状態別死者数の推移（全年齢）【各年6月末】



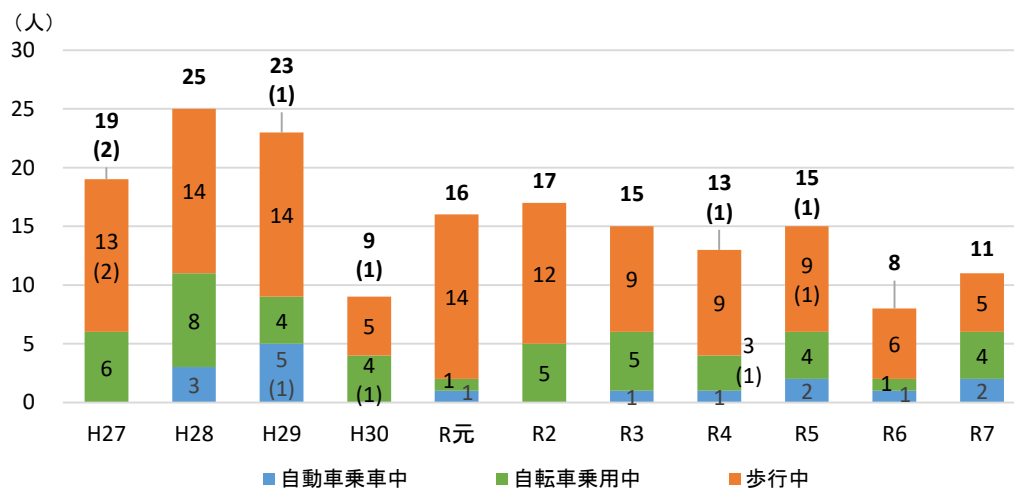
(注)・()内は、全死者数に占める構成率

- ・「二輪車」は、自動二輪車及び一般原動機付自転車(令和5年は特定小型原動機付自転車を含む、以下同じ。)をいう。
- ・平成27年の「軽車両その他」1人、令和5年の「道路外の人」1人を除く。
- ・特定小型原動機付自転車乗車中の死者なし。

状態別死者数の推移（65歳以上）【各年6月末】



状態別死者・重傷者数の推移（小学生）【各年6月末】

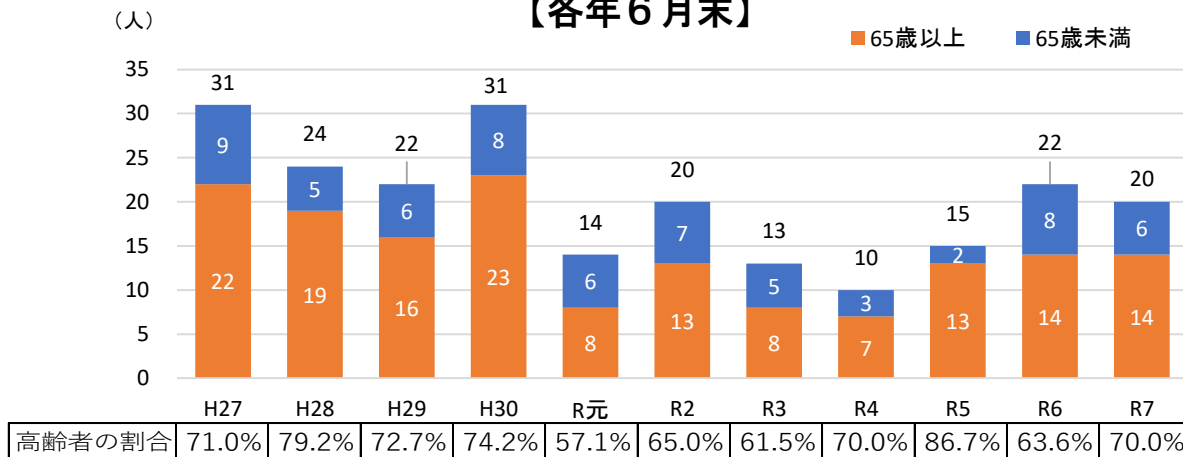


(注) ()内は死者数

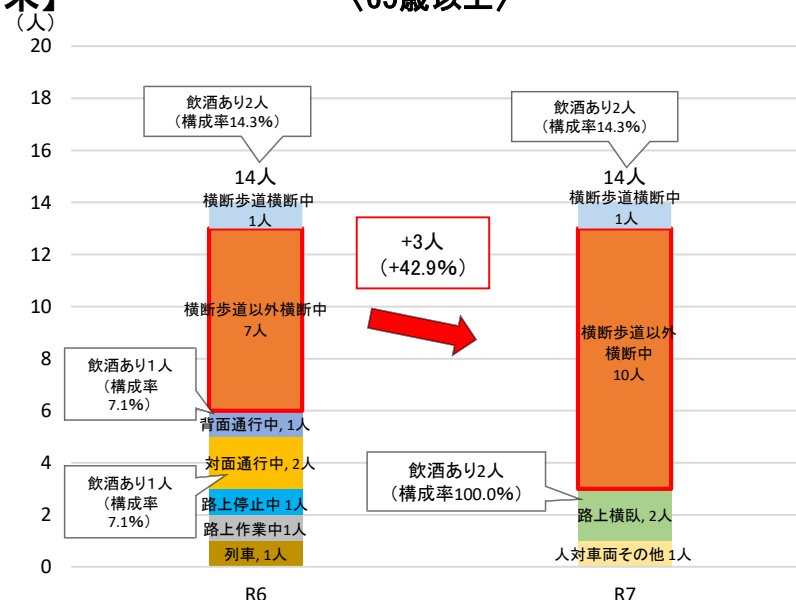
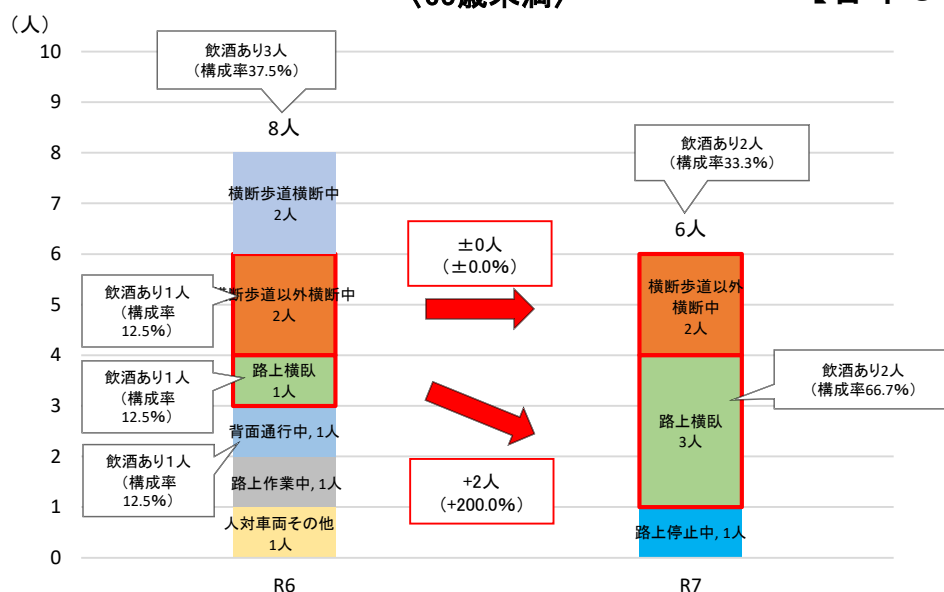
3 歩行者

- 歩行中の死者数は2年ぶりに減少しており、65歳以上の高齢者の割合は約7割で推移
- 65歳未満は「路上横臥」が多く、65歳以上は「横断歩道以外横断中」が多い

年齢層別歩行中死者数の推移（第1・第2当事者）
【各年6月末】



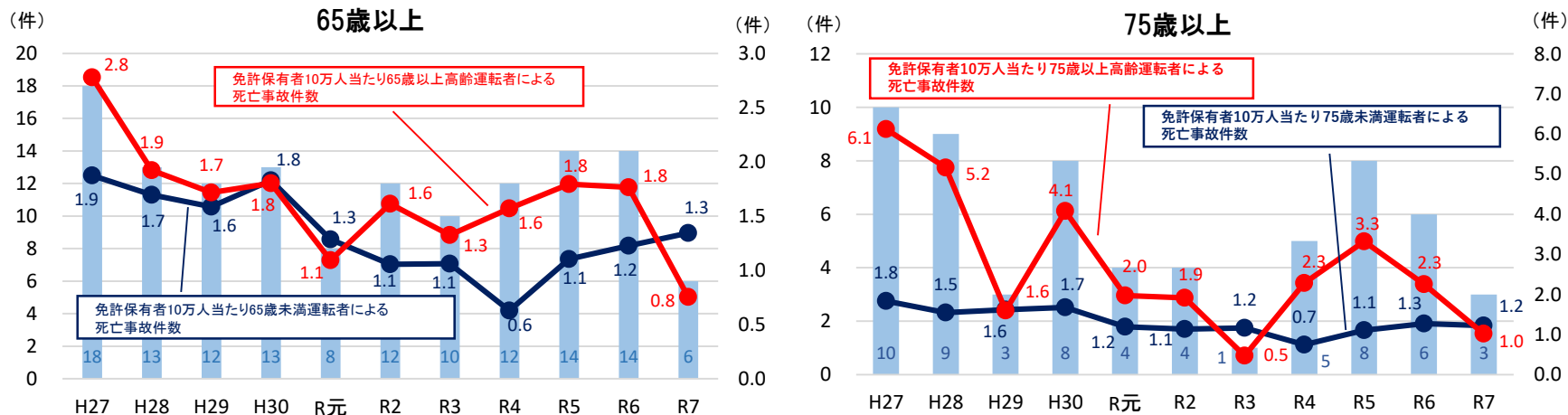
年齢層別事故類型別歩行中死者数比較（第1・第2当事者）
【各年6月末】



4 自動車～高齢運転者

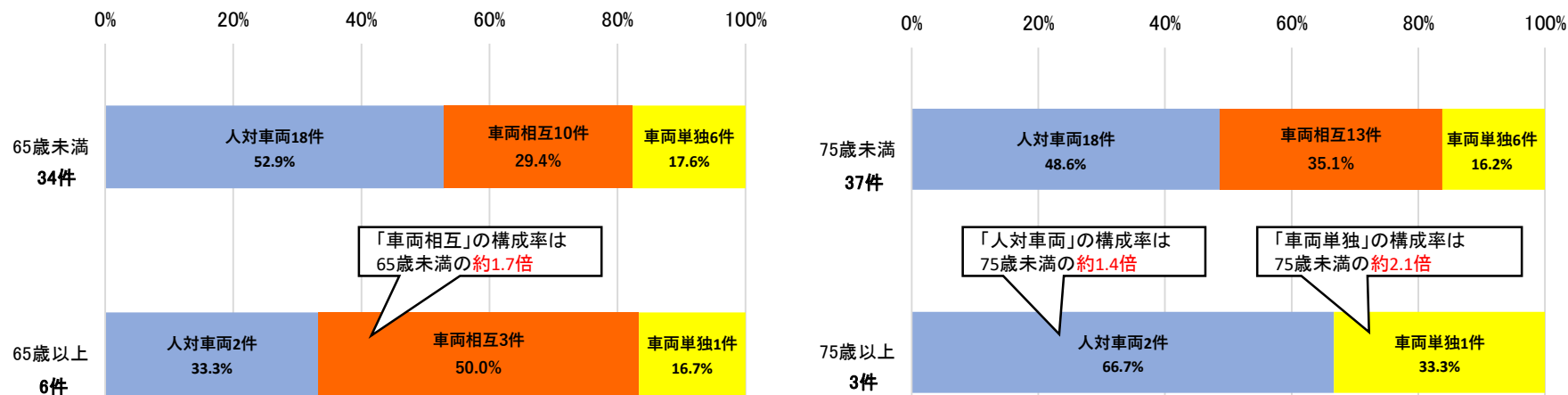
- 65歳以上高齢運転者による死亡事故は6件、前年同期比-8件と減少
- 事故類型は65歳以上高齢運転者は車両相互の構成率が最も高く、65歳未満の約1.7倍
- 75歳以上高齢運転者は車両単独の構成率が75歳未満の約2.1倍

高齢運転者による死亡事故件数の推移【各年6月末】



(注)・第1当事者が一般原付以上の件数である。
 ・運転者の年齢が16歳以上の事故について集計した。
 ・算出に用いた免許保有者数は、各前年12月末の値である。

高齢運転者による事故類型別死亡事故件数【令和7年6月末】

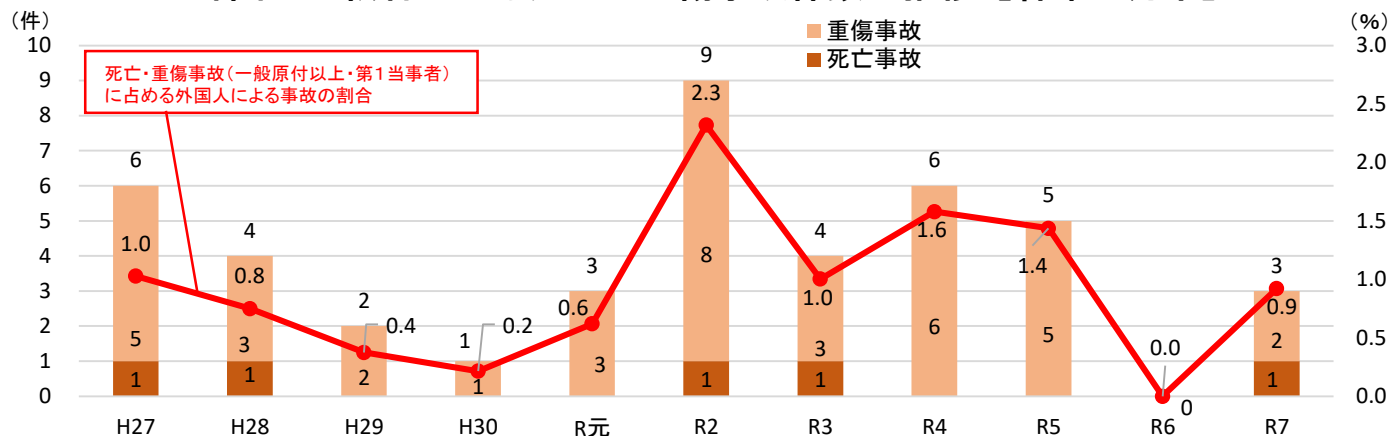


(注)・第1当事者が一般原付以上の件数である。
 ・運転者の年齢が16歳以上の事故について集計した。

5 自動車～外国人運転者

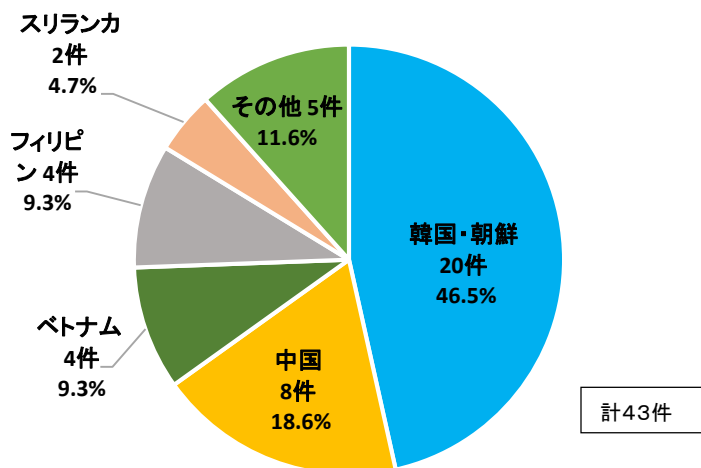
- 外国人運転者による死亡・重傷事故件数は令和6年を除き年間数件発生
- 上半期の外国人運転者による死亡・重傷事故における外国人当事者の運転資格は、すべて日本免許

外国人運転者による死亡・重傷事故件数の推移【各年6月末】



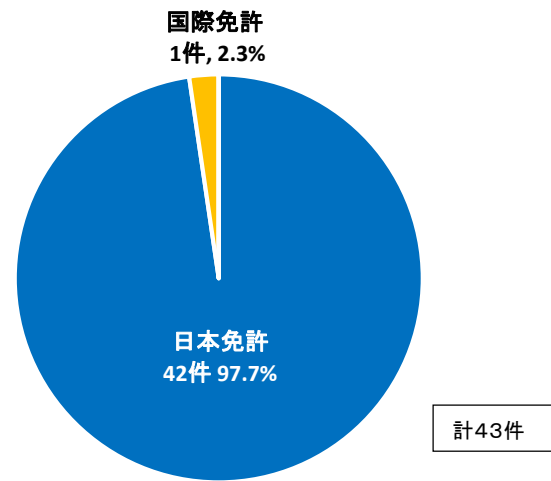
(注)・第1当事者が一般原付以上の外国人(日本国籍以外の者をいい、無国籍の者、国籍不明の者を含む、以下同じ。)の件数である。

国籍(地域)別外国人運転者による死亡・重傷事故件数
【平成27年から令和7年の1月～6月末】



(注)・第1当事者が一般原付以上の外国人の件数である。

運転資格別外国人運転者による死亡・重傷事故件数
【平成27年から令和7年の1月～6月末】

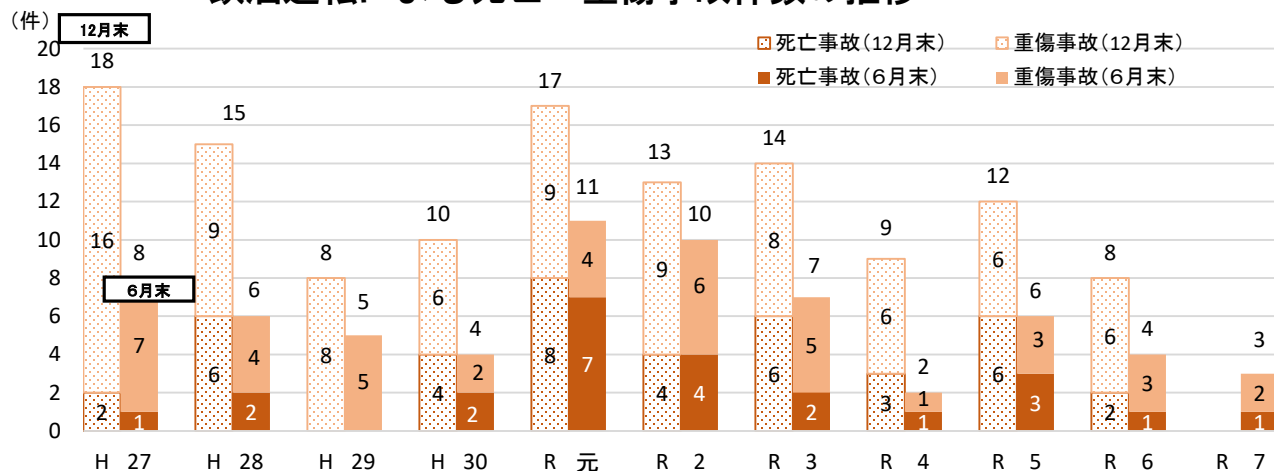


(注)・第1当事者が一般原付以上の外国人の件数である。
・国際免許とは、道路交通に関する条約(ジュネーブ条約)第24条第1項の運転免許証で、条約附属書9又は条約附属書10に定める様式に合致したものをいう。

6 自動車～飲酒運転・携帯電話等使用

- 飲酒運転による死亡事故は令和2年以降、横ばいで推移
- 携帯電話等使用による死亡・重傷事故は横ばいで推移

飲酒運転による死亡・重傷事故件数の推移



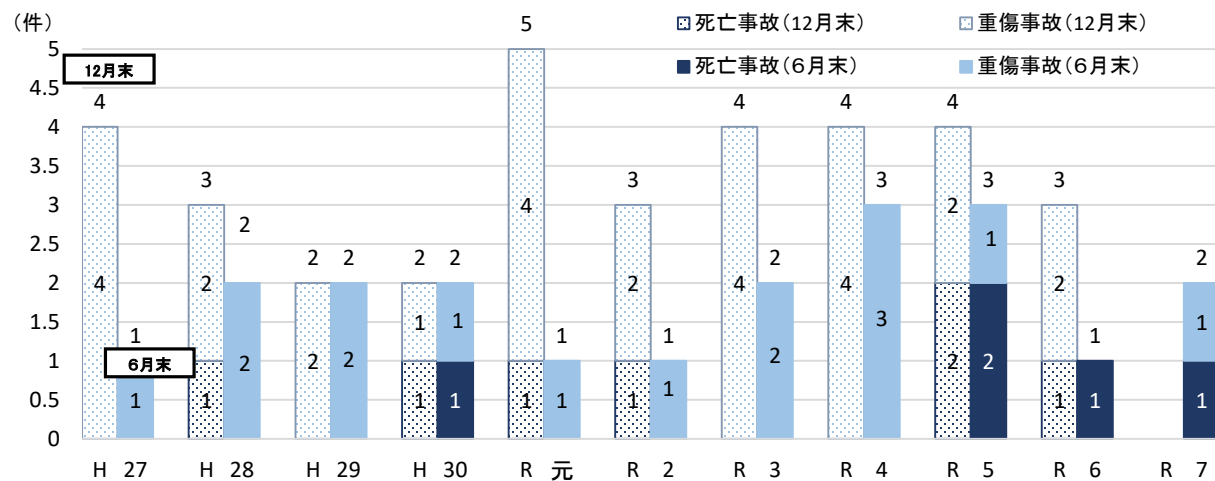
(注)・第1当事者が一般原付以上の件数である。

・「飲酒運転」とは、第1当事者の飲酒状況が酒酔い、酒気帯び、基準以下、検知不能のいずれかに該当するものをいう。

年齢層別飲酒死亡・重傷事故件数 (一般原付以上・第1当事者) 【令和7年6月末】

- 死亡事故
20歳代 1件
- 重傷事故
20歳代 1件
60歳代 1件

携帯電話等使用による死亡・重傷事故件数の推移



(注)・第1当事者が一般原付以上の件数である。

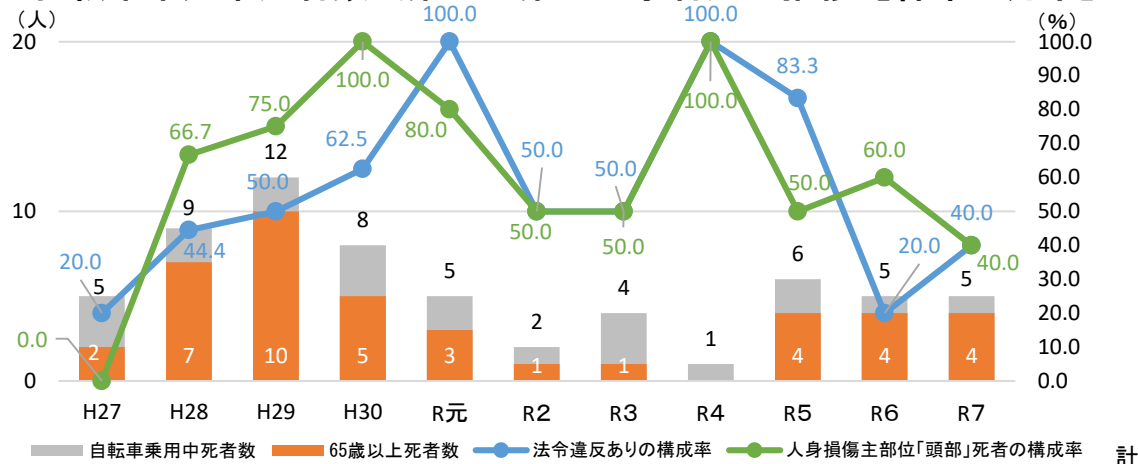
・携帯電話、スマートフォン等の使用が要因となって発生した事故を集計した。

年齢層別携帯電話等使用死亡・重傷事故件数 (一般原付以上・第1当事者) 【令和7年6月末】

- 死亡事故
30歳代 1件
- 重傷事故
20歳代 1件

- 自転車乗車中死者の人身損傷主部位は「頭部」の割合が約40%で高く、そのうちヘルメット着用者の割合は約2.6%
- 事故類型は車両相互の出会い頭が最も多い

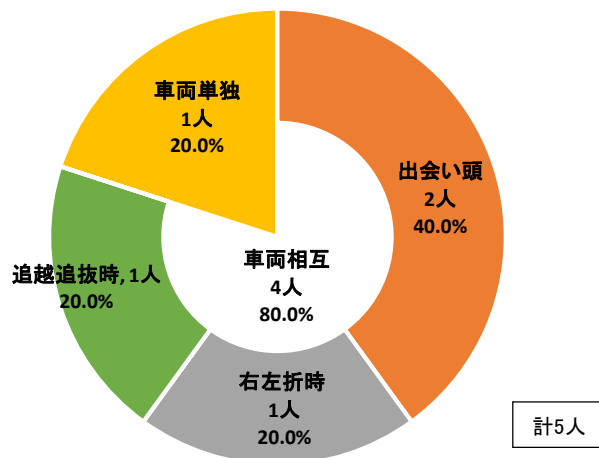
自転車乗用中死者数（第1・第2当事者）の推移【各年6月末】



	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
法令違反あり死者数	1	4	6	5	5	1	2	1	5	1	2	33
人身損傷主部位「頭部」死者数	0	6	9	8	4	1	2	1	3	3	2	39
頭部負傷死者のうちヘルメット着用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

・39人中ヘルメット着用者数1人(約2.6%)

事故類型別自転車乗用中死者数（第1・第2当事者）【令和7年6月末】



8 特定小型原動機付自転車

- 運転者の年齢層は20歳代及び30歳代であった。
- 飲酒運転事故の発生はなかった。

特定小型原動機付自転車関連交通事故件数の推移（月別）

- 令和6年 3件
軽傷3件 4月、5月、12月に各1件
- 令和7年6月末 2件
軽傷2件 1月、6月に各1件

（注）・特定小型原動機付自転車が第1又は第2当事者となった事故について集計した。

運転者の年齢層別交通事故件数【令和7年6月末】

20歳代 1件
30歳代 1件

飲酒運転事故の発生状況【令和7年6月末】

飲酒運転事故の発生なし

（注）・特定小型原動機付自転車が第1又は第2当事者となった事故について集計した。